

高まった財政力は

日本共産党

# 区民の暮らし充実のために

## 北区議会第3回定例会

10月5日に閉会した北区議会第3回定例会。初日の本会議代表質問に立った宇都宮章議員は、貧困と格差を是正し、暮らしを充実させる日本共産党北区議員団の予算組み替え提案の実現を求めました。



代表質問する  
**宇都宮章** 区議  
=9月10日、本会議

実現  
しました

## 就学援助 入学準備金が<sup>前倒し支給に 続き</sup>増額に

小・中学校の就学援助入学準備金は、今年度、前倒し支給が実現したのに続き、今定例会では補正予算で増額が実現。小学校児童は2万3890円から4万600円に、中学校生徒は2万6860円から4万7400円に引き上げられることになりました。さらに、党区議団が求めていた介護予防・日常生活支援総合事業の報酬単価引き上げも、補正予算で実現の運びとなりました。

## 日本共産党北区議員団の予算組み替え提案 4年間で19項目の要望が予算化

北区の当初予算に対し、この4年間で、日本共産党北区議員団が組み替え動議による実現を求めた項目は48項目。このうち、次年度予算や補正予算で予算化された項目は19にのびります。区民の暮らし充実へ、二元代表制の一翼をになう議会会派として、積極的な提案をおこなっています。

- 多床室を含む特養ホームの増設
- 子ども食堂への支援
- 認可保育園・学童クラブ増設
- 感震ブレイカー設置助成

# 人口が増えるのに、施設は減らす!?

## 日本共産党区議団 区民にとって必要な施設は削減でなく拡充を

北区が示した最新の人口推計では、総人口で今後10年間、年少人口で15年間、人口は増え続けるという見通しになりました。ところが北区は、保育園や学童クラブを増設する一方で、ますます必要性が高まっている区民事務所分室や児童館、学校などの施設を、次々と削減しています。

日本共産党区議団は、区民にとって必要な施設は削減するのではなく、人口増にふさわしく拡充すべきと求めています。



9年前に統合した滝野川紅葉中学校は、生徒数が当初予想の300人から、約1.5倍の440人に。昨年は新世代学習空間を普通教室に転用、少人数学習には生徒会室まで使わざるを得なくなったのに、区教育委員会は「ただちに教室が足りなくなることはない」などの答弁を繰り返しています。

区民事務所分室	<b>7分室*を全廃</b> (2018年10月から) <small>*浮間・桐ヶ丘 神谷・十条・豊島 滝野川西・東田端</small>
児童館	<b>最大4割まで削減</b> (25児童館から15~17子どもセンターへ)
学校	十条富士見中サブファミリーブロック <b>適正配置で5校を3~4校へ</b>

20年で  
15%削減

## 公共施設再配置方針の見直しを

施設削減のおもとは、5年前に区が決めた「公共施設再配置方針」があります。この計画では、20年間で15%の施設面積を削減する目標となっていますが、実際には5年間で5000㎡の施設が増えています。人口増で、ますます実態とかけ離れた目標は抜本的見直しが必要です。

## 学校施設跡地利活用計画に 住民の声を反映させよ



### さがらとしこ 区議

北区は、旧赤羽台東小学校の跡地利活用計画案に、児童相談所や一時保護所などの複合施設建設を盛り込みました。5回にわたる検討

委員会と公募意見では、昭和36年建設の赤羽台西小の改築がせまっております。「改築時の移転先として旧赤羽台東小を活用すれば、児童の負担を軽減できる」、「今後予想される児童数増加にも対応できるのではないか」などの意見が多数出されていました。

さがら区議は、「区民の意見をどう生かすのか。児童相談所をつくるにしても、区民の理解と合意、協力が大切になる」と質しました。

## 北清掃工場の解体工事では 全覆い仮設テントの使用を



### のの山けん 区議

4年後に解体が始まる志茂1丁目の北清掃工場について、建替事業の主体である東京二十三区清掃一部事務組合は、全覆い仮設テ

ントを設置せずに解体工事をおこなうとしています。のの山区議は、ここ数年、建替え工事をおこなっている他の清掃工場では、すべて全覆い仮設テントを使用しているのに、なぜ北工場で使用できないのかと質疑。さらに決算特別委では、すでに工場周辺の住民や、小学校の保護者らからテント使用を求める署名運動が始まっていることも紹介し、「清掃一部事務組合に、引き続きテント使用を求めよ」と追及しました。

# 住民の切実な願い実現を

## 決算特別委員会 日本共産党区議団が提案

今定例会では、2017年度の北区予算執行について、決算特別委員会での審査がおこなわれました。

日本共産党区議団はこの中で、切実な区民の要望をとりあげ、その実現を求めて積極的な提案をおこないました。決算特別委員会での質疑を紹介します。

### 学校体育館に エアコン設置を

先の都議会で東京都は、小・中学校体育館のエアコン設置に緊急支援をおこなうと表明しました。都の助成制度も活用し、学校体育館への設置を進めるとともに、普通教室以外の教室へもエアコン設置を促進し、酷暑対策に万全を期すよう求めました。



### 開発から十条の 商店街を守れ

十条駅西口再開発ビル内には、低層階に最大1万㎡の商業施設が誘致され、既存商店街に甚大な影響を与える恐れがあります。党区議団は、商業床面積の制限や、既存商店との競合を避けるなど、北区が再開発組合と調整にのりだすよう求めました。



### コミュニティバス 新規路線を

現在運行されているルートも含め、今後の展開方針に向けた調査が行われているコミュニティバス。区内各地域から要望の強い新規路線について、来年度に改定される北区基本計画に位置づけ、実現に向けた一歩を踏み出すよう求めました。



## 日本共産党への 誹謗・中傷発言

### 公明党に撤回要求

決算特別委員会の中で、公明党の大島実議員は、事実も確認しないまま、区が後援する行事において日本共産党が「政治的なビラ」を配布させたとして、これを「糾弾する」などと発言しました。党区議団はただちに、公党を誹謗・中傷する発言の撤回を要求しました。

直後の理事会では、日本共産党の議員を指したものと認めながら発言撤回を拒んだ公明党。議会の場を利用した事実無根の攻撃は、断じて許されません。

お困りごと・ご相談はお気軽に地元の区議会議員へ

日本共産党  
北区議員団

TEL 3908-7144 FAX 5993-0280



**宇都宮 章**  
神谷3-10-8-401  
090-4127-7550  
神谷、東十条1~4、王子1丁目4~28番、2丁目1~20番、同23~32番、3丁目1~19番、4丁目1~24番、王子5、豊島1丁目1~11番



**さがらとしこ**  
赤羽北3-23-17  
3905-0970(事務所)  
桐ヶ丘、赤羽台1・2丁目、3丁目19~30番、同17番74号を除く17番全部、赤羽西5・6丁目、赤羽北3丁目



**ながいともこ**  
浮間3-1-54-302  
080-4429-6338  
浮間、赤羽北1・2丁目、赤羽西1~4丁目、赤羽台3丁目1~16番、同17番74号と18番、赤羽台4丁目



**野口 まさと**  
東十条5-16-10  
070-5658-0603  
上十条、中十条、十条台2丁目、十条仲原、岸町2丁目、西が丘、東十条5・6丁目



**のの山 けん**  
岩淵町22-31-401  
090-2156-3510  
赤羽、赤羽南、岩淵町、志茂



**福島 宏紀**  
豊島5-4-1-615  
090-1206-6925  
豊島5丁目、6丁目8~15番、7丁目15~33番、豊島8丁目、王子3丁目20~24番、4丁目25~28番、王子6丁目



**本田 正則**  
田端3-4-12-305  
090-9240-8066  
田端、中里、西ヶ原、上中里1丁目、東田端、田端新町、昭和町



**やまき 直人**  
滝野川2-34-4-201  
3917-9827  
滝野川、王子1丁目1~3番、王子本町、岸町1丁目、十条台1丁目



**山崎 たい子**  
豊島7-19-10  
090-2160-1292  
豊島1丁目12~39番、豊島2~4丁目、6丁目1~7番、7丁目1~14番、王子1丁目29・30番、2丁目21・22番、堀船、上中里2・3丁目、柴町